

地区防災計画の活性化を目指すシンポジウム（案）

『住民主体の防災計画はいかに可能か？』



地震や風水害などの大規模災害では、行政の災害対応力が追い付かないため、住民や各種団体などによる自助・共助の取り組みが必要不可欠といわれます。そこで、2013年6月、災害対策基本法によって、住民などが主体的に防災計画を策定できる「地区防災計画制度」が導入され、様々な先進事例が発掘されてきました。ところが、地区防災の現場からは、「防災計画づくりは難しい」、「防災活動が広がらない」、「担い手がない」などの悩みも多く聞かれます。そこで、本シンポジウムでは、地区防災計画に関わる様々なお立場の方をお迎えして、「住民主体の防災計画」に必要な要件と課題、今後の制度運用のあり方などを考えます。

日時 2018年 10月 31日（水） 13:15（13:00開場）～

場所 緑と水の市民カレッジ2階（日比谷公園内）

参加費 無料（要申込、先着100名様）

*参加者の皆様に2018年刊行の報告書「地区防災計画制度運用の活性化に関する調査・研究」を進呈いたします。

講演 1「シンポジウムの趣旨」（仮）

吉川忠寛（（株）防災都市計画研究所所長、内閣府「地域で津波に備える地区防災計画策定支援検討会」委員）

2「地区防災計画の推進について」（仮）

山口徳彦（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官補佐）

3「地区防災計画は戦略か戦術か」その先にみえるもの（仮）

高山宗久（SYM三町会災害連合会 会長）

4「首都を守る防災公園の取り組み」

菊池正芳（（公財）東京都公園協会 公園事業部長 兼 防災担当部長）

5「自発的な自助・共助を超える『地区防災計画』はあり得るか？」（仮）

加藤孝明（東京大学生産技術研究所准教授、内閣府「ジェンダーと防災有識者」懇談会座長）内閣府 地域で津波に備える地区防災計画策定支援検討会委員）

討論 コーディネーター 吉川忠寛

お問い合わせ先

和田幸子（公財）都市防災美化協会 Tel/Fax：03-5202-2011 Mail：bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp
飯塚史乃（株）防災都市計画研究所 Fax：03-3263-7053 Mail：iizuka@lusp.co.jp

主催 公益財団法人都市防災美化協会

共催 株式会社防災都市計画研究所、公益社団法人東京都公園協会、地区防災計画学会（予定）

後援（予定） 一般財団法人日本造園修景協会、一般社団法人日本造園建設業協会、
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、全国一級造園施工管理技士の会、
一般社団法人東京都造園緑化業協会、一般社団法人埼玉県造園業協会、公益社団法人日本造園学会

地区防災計画の活性化を目指すシンポジウム

『住民主体の防災計画はいかに可能か？』

参加申込票

平成30年 月 日

| NO | 氏名 | 所属 | e-mail |
|----|----|----|--------|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |

下記に申し込みます。

地区防災計画の活性化を目指すシンポジウム「住民主体の防災計画はいかに可能か？」

日時 平成30年10月31日（水） 13:15（13:15開場）～

場所 緑と水の市民カレッジ2階 東京都千代田区日比谷公園1-5 日比谷公園内

（お問い合わせ先）

●公益財団法人都市防災美化協会 和田幸子

TEL/FAX：03-5202-2011 **mail: bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp**

●(株)防災都市計画研究所 飯塚史乃

TEL：033262-6376 FAX: 03-3263-7053 **mail: iizuka@lusp.co.jp**

緑と水の市民カレッジアクセス



東京メトロ丸ノ内線、千代田線「霞ヶ関」下車 徒歩3分

東京メトロ日比谷線「日比谷」下車 徒歩5分

都営地下鉄三田線「内幸町駅」下車 徒歩5分

JR山手線「有楽町駅」下車 徒歩15分